

市長提案説明要旨

令和元年6月6日

本日ここに令和元年第2回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案などの説明を申し上げます。

《はじめに》

先日、東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会から、オリンピック聖火リレーのルート概要が公表されました。サッカー競技の開催都市である本市といたしましては、何ともしも聖火リレー実施自治体への選定を願っていたところですが、ルートに含まれたことで一安心したところです。走行ルートや時間などの詳細は、現在、調整中とのことでありますが、組織委員会や茨城県と協力し、成功に向けて準備を進めてまいります。

皆様もご存じの通り、6月2日に行われた「第90回都市対抗野球北関東大会代表決定戦」で、日本製鉄鹿島硬式野球部が劇的な勝利を収め、私たちに感動を与えてくれました。北関東第1代表として、7月13日から東京ドームで開催される本大会に出場いたしますが、本市の代表として、全国にその名を馳せ、念願の黒獅子旗獲得を大いに期待いたします。

なお、日本製鉄鹿島硬式野球部においては、10月に京セラドーム大阪で行われる「第45回社会人野球日本選手権」への出場権も既に獲得しております。両大会で素晴らしい成績を残されることを期待するところです。私もできる限り都合をつけて、応援に駆け付けたいと思います。

(国内情勢等)

内閣府は、5月の月例経済報告で、国内の景気判断を2ヵ月ぶりに引き下げ、「輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している」と発表しました。3月の景気動向指数では、基調判断が6年2ヵ月ぶりに「悪化」と下方修正されたものの、3月の有効求人倍率は高水準を維持し、企業も一定の収益を確保しており、個人消費なども堅調であることから、国内景気は回復基調と判断されています。

しかし、景気の先行きについては、米中貿易摩擦の激化などで不透明さを増しており、政府は経済運営で慎重なかじ取りが求められています。

本市におきましても、前年度の繰越し事業、及び今年度事業を着実に推進し、地域経済の活性化が図られるように取り組んでまいります。

《事業の概要等》

続きまして、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要について、ご説明申し上げます。

(スポーツでつながるまちづくり)

5月18日、市内中学校を対象に、鹿島アントラーズ戦の全校応援を実施しました。1,900名を超える生徒たちの応援が後押ししたのか、試合はアントラーズが松本山雅を5対0でくだす快勝で、生徒たちは大いに盛り上がりました。このような機会により、子どもたちは郷土の誇り、地元への愛着を覚えると考えますので、継続して実施できるよう努めてまいります。

健康で活力のあるまちづくりを実現するため、一年を通して利用できる屋内温水プールとして、4月7日に『いきいきゆめプール』をオープンしました。この『いきいきゆめプール』は、学校プールと市民プールの機能を併せ持ち、県外からの問合せも多く、視察に訪れた自治体からは、高い評価を得ております。また、昨日は、学校プール集約化の先駆的事例として、私が直接、国で事例発表も行ってきたところです。

5月22日からは、大野区域の小・中学生の授業に活用され、子どもたちの元気な声が館内に響きわたっています。授業として利用されない時間帯には、一般の方にも開放しておりますので、ぜひ皆様の健康増進に役立てていただきたいと思います。

スポーツによる多様な交流の推進を目標として掲げる本市では、様々なスポーツイベントの誘致を行っております。来る6月29日から7月7日まで、カシマスポーツセンターで開催される「2019年 ネットボール・アジアユース選手権大会」は、日本代表をはじめ世界10ヶ国から結集した選手たちが熱い戦いを繰り広げます。

この他、夏にかけて、塚原ト伝杯剣道大会・柔道大会や、ビーチサッカー大会などが予定されており、今後も市民の皆様が様々なスポーツに親しむ機会を、積極的に提供してまいります。

今年は、いよいよ「いきいき茨城ゆめ国体2019」の開催年です。

サッカー競技の市内会場は5会場ありますが、この3月に、高松緑地公園多目的球技場で人工芝や観覧席の整備、クラブハウスの新設などが終わり、いよいよ国体本番に向けての施設環境が整いました。

カシマスポーツセンターは、オリンピックの関連施設としての利活用が予定されることから、空調設備の改修及び照明のLED化、トイレの洋式化などを進め

てまいります。市民の皆様には、利用面でご不便をおかけいたしますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」も、開催まで1年余りとなりました。

今年度は、引き続き組織委員会及び茨城県と連携しながら、7月に開催予定の1年前イベントなどの各種イベントや、公用車へのカー・ラッピングをはじめとしたPR活動により、機運醸成を図ってまいります。また、市民のオリンピックへの参加機会として、市ボランティアを募集し、5月末日現在、110名の方から応募をいただいております。質の高いボランティア活動を目指し、研修の充実やその運営体制の確立を図ってまいります。

「鹿嶋市オリンピック・パラリンピック教育推進事業」を、昨年度の中学校に続き、今年度は小学校で実施いたします。

5月29日の大同西小学校を皮切りに、11月25日の豊津小学校まで、市内全12小学校にトップアスリートを派遣し、オリンピック開催の機運を高めるとともに、子どもたちの夢を育み、心身の健全な成長をサポートしてまいります。

なお、地元で行われるこのオリンピックは、次世代を担う子どもたちにとって、一生の財産として心に残ると思います。市では、市内小・中学生分のチケットを確保し、世界的イベントを目の当たりできる貴重な体験になるよう、準備を進めてまいります。

(未来を創るひとづくり・まちづくり)

鹿嶋市では、教育の原点である家庭教育の充実を図るため、平成29年度から訪問型家庭教育支援を行っております。今年度は、小学1年生を持つ全家庭を対象に、家庭訪問を実施いたします。

幼児教育から学校教育へと環境が大きく変わったことによる不安や、困りごとの早期発見・早期支援に努め、子どもたちの健やかな育ちを支援してまいります。

子どもたちに快適な学習環境を提供するため、中学校4校へのエアコン整備工事を、現在、急ピッチで進めております。既に幼稚園・小学校、そして保育園への整備は済んでおり、子どもたちが常時使用するスペースは、今回の工事をもって完了することになります。子どもたちが利用する施設の環境整備につきましては、今後も計画的に推進してまいります。

(地域資源を生かしたまちづくり)

急速な国際化の進展により、次代を担う子どもたちにとって、国際感覚を養う

ことは極めて重要であると考えております。

今年度も、中学生国際交流事業として、姉妹都市である韓国・西帰浦市の中学生18名との相互交流を行います。まず、明後日の8日から11日まで西帰浦市の交流団が本市を訪れ、ホームステイや大野中学校との交流を通して、お互いの理解を深めてまいります。なお、本市からの訪問団は、11月1日からの4日間を予定しております。

また、異文化体験事業として、英国留学と同様の環境で行われるイングリッシュ・サマーキャンプを8月上旬に実施するとともに、今年度は新たに、8月下旬にオーストラリアへの派遣事業も予定しております。

2002年のサッカーワールドカップ開催を契機に始まった「花いっぱい運動」が、6月8日、国道51号バイパス、124号バイパスなどの沿道花壇で実施されます。この事業は、多くの市民の皆様が参加しての取り組みであり、鹿嶋市の初夏の風物詩となっております。

今年の国体、来年のオリンピックでも、本市を訪れる方々を多くの花でおもてなししたいと考えておりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

鹿行5市と鹿島アントラーズFCをはじめとする民間4社が出資する一般社団法人アントラーズホームタウンDMOによる、鹿行5市を結んだ初の連携イベント「第1回茨城100Kウルトラマラソンin鹿行」が、3月24日に開催されました。

当日は676名がスタートし、7割以上にあたる方が100キロを完走しました。コース上に設けたエイド・ステーションでは、各市の特産品などを提供し、ランナーの応援、おもてなしを行いました。

今後も、北浦の堤防を活用して、日本一フラットな100キロコースとして定着していくことを期待しております。

今年の平井・下津海水浴場は、7月13日から8月18日までの37日間、開設いたします。

皆様楽しんでいただけるようなイベントをご用意しておりますので、多くの方のご来場をお待ちしております。

「第41回鹿嶋市花火大会」は、8月25日に行なわれます。関東一の尺玉108連発をメインに、水中花火や超特大スターメインなど、見どころがいっぱいですので、多くの方の観覧を期待しております。

また、今年もふるさと納税返礼品として、昨年好評でありました「宿泊付きペア特別観覧席」も用意されておりますので、市の魅力をアピールしてまいります。

外港地区の北海浜航路や泊地の浚渫工事などが進み、これまで水深13mで、暫定1バース供用だった鹿島港外港公共埠頭は、この夏から計画水深である14mでの大型船の接岸が可能となり、荷役の効率化が図られることとなります。

今後も、外港公共埠頭が安全で使いやすい港となるよう、国・県と連携してさらなる利活用の推進、ひいては鹿嶋市の経済活性化を図ってまいります。

今月16日には、環境サポーターの皆様が一堂に会し、不法投棄の撲滅を広く市民に訴える、「第15回鹿嶋市環境サポーター統一行動」が予定されております。私も毎年、この統一行動に参加し、不法投棄は絶対に許さないという決意を新たにしております。本市のこの豊かな自然環境を次の世代に伝えていくために、引き続き地域の皆様との連携を図りながら、効果的な施策を展開してまいります。

(市民と共に創るまちづくり)

これから新しい家族を迎えるプレパパ・プレママや、そのようなパパ・ママを応援する団体の方々を対象に、6月30日に「パパ・ママ応援イベント」を開催いたします。

当日は、パパ・ママ講座、親子ワークショップ、子育て相談などを開催するほか、今回は初めて「こども服のかえっこ会」も開催するなど、子育て世代の支援、男女共同参画社会の推進に努めてまいります。

(住んで安心のまちづくり)

昨年からの全国的な風しん患者の増加を受け、今年度から3年間、風しんの抗体保有率が低い年代の男性を対象に、抗体検査と予防接種を無料で実施いたします。風しんは、妊娠中の女性が感染すると、お子さんに先天性風しん症候群が生じる可能性があるため、社会全体で感染拡大の防止を図る必要があります。本市では、これから、国体やオリンピックの開催を控え、国内外から多くの方々をお迎えすることになりますので、周知を含めた積極的な対策を講じて、市民の健康保持に努めてまいります。

今年10月に予定されている消費税率の引上げにあわせ、全国一斉の負担軽減策として、「プレミアム付商品券事業」を実施いたします。

この事業は、税率引上げ直後に生じる消費への影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的とするもので、住民税非課税世帯と、0歳から3歳半までの乳幼児のいる子育て世帯を対象とするものです。市内では、合わせて14,000人程度が該当すると想定しておりますが、円滑に開始できるように、着実に準備を進めてまいります。

鹿行地域で初となる「いばらき防災大学」が、鹿嶋勤労文化会館で6月29日から4日間、開講されます。本市では、地域防災力の充実強化を図るため、今年度から、防災士の資格取得にかかる費用助成を始めました。これにより、多くの市民の方が受講され、防災士の資格取得を目指されることを期待するところです。今後も、災害に強く安全に暮らせるまちを実現していくため、さらなる防災力の強化に取り組んでまいります。

本市の道路網の骨格をなす国道51号バイパスは、イベント時における交通渋滞が重大な懸案事項となっております。これまで、国に対して継続的に行ってきた要望活動が実を結び、今年度、大船津から清水までの国道51号バイパスが4車線化されることになりました。オリンピックまで残された時間はわずかですが、市といたしましても、できる限りの協力をしてまいります。

（自立した信頼のあるまち）

5月20日から、市役所第2庁舎1階フロアに、総合窓口課の番号呼出し機器に合わせて、本市の行政情報・広報や地元の企業などの生活情報広告を放映する広告モニターを設置いたしました。

市では、情報発信に関しまして、従来からの広報紙やホームページに加え、現在、公式SNSとして、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムを開設し、積極的に情報発信をしているところです。市内外の多くの方々に鹿嶋の魅力をより効果的に伝え、市の知名度アップ、市民サービスの向上と地域経済の活性化に努めてまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

《提出議案等》

次に、提出いたしました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が1件、条例関係議案が3件、人事関係議案が1件、その他の議案が2件、合わせて7件であります。

まず、予算関係議案は、令和元年度の一般会計の補正予算であります。

一般会計補正予算は、プレミアム付商品券事業、未婚世帯の臨時給付金事業、老人福祉施設助成事業、一般廃棄物広域処理事業、体育施設管理費などを計上しております。

条例関係議案は、鹿嶋市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例などであります。

人事関係議案は、鹿嶋市監査委員の選任に当たり、議会の同意を求めるものです。

その他の議案は、鹿島地方事務組合理約の変更についてなどであります。

私の説明は以上で終わりますが、予算以外の議案につきましては、総務部長から補足説明をさせていただきます。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。